

山梨県立大学国際政策学部 令和8年度学校推薦型選抜・特別選抜
小論文 問題

日本の社会は今、人口構造の変化が生じはじめています。総務省の人口推計（2024年（令和6年）10月1日現在）によると、日本の総人口は1億2380万2千人で前年度に比べ約55万人減少しました。このうち日本人人口は、約89万減少しましたが、日本に常住する外国人人口は約34万人増加しました。

以下は、国立社会保障・人口問題研究所が発表した「日本の将来推計人口」の資料です。まず図表から読み取れることと、その要因について記述してください。

また、それらを踏まえたうえで、これからの日本の地域において共生社会を築いていくために、国や自治体、企業、地域コミュニティ、個人等がどのようなことに取り組むべきか、あなたの考えを論じてください。（合計800字以内）

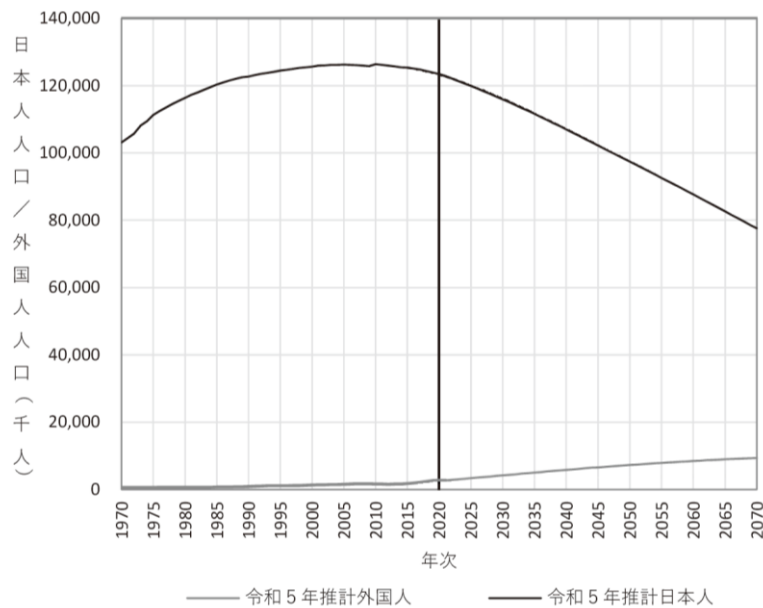


図1：日本人人口と外国人人口の推移（出生中位（死亡中位）推計）

出所：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」（令和5年）を一部加工し作成

*2020年（令和2年）以前は実数。令和5年時点の推計値を掲載。

表1：日本人人口と外国人人口（2020年（国勢調査）と2070年（推計））

	2020年（国勢調査）	2070年（出生中位（死亡中位）推計）
日本人人口	1億2,340万人	7,761万人
外国人人口	274万7千人（総人口の2.2%）	939万人（総人口の10.8%）

出所：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」（令和5年）のデータを基に作成